

■山本美保さんの消息確認に関する談話

必ずお元気な美保さんにお会いできると信じて活動してきた者として、このような消息がもたらされたことに強い衝撃を受けている。この間ご家族や支援者の皆様も再会を信じて尽力してこられたが、今回の結果にかかわりご迷惑をおかけしたことがあったとすればそれはすべて私たち調査会の責任である。

しかし、山本美保さん失踪については山梨県警の発表内容も含めまだ疑問点があまりにも多い。「自殺の可能性がある」との発表も、その根拠は示されていない。私たちが拉致の疑いが濃いと判断した要素の中で参考情報として考慮した目撃証言を除いては未だ否定されたものではなく、今後とも山本美保さんについては拉致の疑いが濃い事件として調査会としての真相究明を行っていく。

平成 16 年 3 月 5 日

特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

■山本美保さんと身元不明死体が一致したことに関する疑問点

上記談話の疑問点でとりあえず整理したものを以下に発表します。

1. なぜいまの時点の発表なのか？

●家族のDNA鑑定を行ったのは昨年5月、今回の遺体について遺留品の照会を県警から受けたのは昨年秋である。なぜ今の時期の発表になったのか。

●山形県の遺体発見は昭和59年6月21日、柏崎で山本美保さんのバッグが発見された6月8日から2週間足らず(13日)であった。なぜ当時山形県警(酒田署)はこれに対して新潟県警(柏崎署)に照会をしなかったのか。遺体漂着なら、海流から考えて当然新潟方面から流れ着いたと考えるべきであり、照会してしかるべきではないか。

●遺体の頭部に損傷がなければ、歯が残っていたはずであり、これまでも歯形を調べれば本人と確認できたはずである。事実、家族は捜索願を出したあと、不明死体の連絡が入るたびに確認に向かっているが、歯形が合わなかったことで別人と判明している。この遺体についてはどうだったのか。

●またバッグが美保さんのものであることは6月8日の時点ですでに分かっているはずだから、当然山梨県警にも照会されたと考えられるのではないか。

2. 自殺だと考えた場合の疑問

●柏崎と遊佐町という、北朝鮮の上陸地点に関連しているのは、果たして偶然の一致か？

●失踪後の電話は一体誰が何のためにかけたのか？ 3年6カ月後の電話では「美保でしょ？ 元気？」というと、かすかに「元気……」と答えたという。この他電話口ですすり泣く声や無言電話が続いた。

3. 警察は北朝鮮との関連の疑いを持たなかったのか？

●遺体が発見された山形県遊佐町は北朝鮮工作員の上陸地点。これに関して地元警察（届出のあった酒田署）が敏感だったと考えられる。遺留品のあった新潟県の柏崎に関しても同様。警察は北朝鮮との関連を疑っていたのではないか、あるいは何かの事実を掴んでいたのではないか。

4. 拉致の疑い

●以上のことから考えると、単純に自殺と断定すべきではない。山梨県警察も「自殺の可能性はあるが、捜査を継続する」と見解を述べているように事件の可能性も考えられる。その中に拉致の可能性も否定できない。

●山本美保さんのケースは、拉致の失敗ではないか。ちなみに元北朝鮮工作員安明進氏によれば、「拉致された人が抵抗した場合強烈に殴打され、死亡した人もいた」と言っている。その中には海中に遺棄された人もいるという。これにあたる可能性はないか。

●また遺体漂着地点も工作員上陸地点であることから、あるいはその地（遊佐町海岸）を選んで遺棄したことも考えられるのではないか。

5. その他の疑問

●足のサイズ…山本美保さんの足のサイズは23～23・5（家族の記憶）、しかし昨年秋この遺体について遺留品の照会を受けたとき家族が聞かされた足のサイズは22cmだったと

04年03月05日 ■山本美保さんの消息確認に関する談話

いう。しかも遺体は両太ももから下が切断されていたにもかかわらずなぜ足のサイズが分かったのか。